



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

Official TEST Report 2021/3/23～24 FUJI Speedway 2nd Official test

2021年開幕を翌週末に控えた富士スピードウェイで、開幕前最後のテストとなる第2回目公式テストが開催された。6号車牧野選手は、体調調整のため、鈴鹿に続いてテストを欠席。引続き、笹原右京選手がステアリングを握る。

テスト初日の23日、午前中セッションスタートは、昨夜の雨により路面コンディションは一部ウェット。チームは、セッション序盤はピットストップシミュレーションなどを行い、コンディション回復を待った。

セッションが進むと路面コンディションも好転、DOCOMO TEAM DANDELION RACINGの2台は、好タイムを刻みながら積極的に走り込みを行い、新たなセットアップや空力関連のテストメニューを消化。福住選手は初日総合2位、笹原選手は8位につけた。

公式テスト2日目は天候に恵まれ気温も上昇、しかし南風が強めに吹くコンディション。

午前中はピットストップやスタート練習、ロングランなど、テストメニューを精力的に消化。

セッション終盤の予選シミュレーションでは、ピットロード入口のストップ車両発生により赤旗中断、そのままセッションが終了となったためアタックは不発に終わったが、それでも福住選手は首位タイム、笹原選手は7位で午前中セッションを終えた。気温が上がり風もさらに強くなった午後のセッションでは、両ドライバー共に、マシンの感触は悪くないがタイムが出ない状況が続く。ニュータイヤでもタイムの上げ幅が小さく、課題の残るセッションとなった。

5：福住仁嶺 選手 総合2位（ホンダ勢2位）

鈴鹿のテストから継続して、比較的ポテンシャルは高いですね。2日間を通して、レースや予選シミュレーション、ロングランや新たなパーツなど、実践的な様々なメニューを消化出来ました。2日目は総合トップで終わることが出来ましたが、特に午後の走行では感触と結果のずれがあって、開幕に向けての課題が残りました。時間はあまりないですが、しっかりと準備して開幕優勝を狙います。

6：笹原右京 選手 総合6位（ホンダ勢4位）

鈴鹿に続いて牧野選手の代役として富士公式テストに参加しました。

様々なメニューを通して多くのデータを集められたのですが、鈴鹿テストのときと比較して、理想とする方向にはなかなか繋がらなくて、特に2日目午後のコンディションの変化への対応がうまくいきませんでした。

ドライビングとセットアップ両方の側面から解析を出来るよう、チームに協力したいです。